



植松将志(うえまつ まさし)1983年生まれ。長崎県出身。建設会社の営業マンを経て、2017年、飯盛グリーン開発の取締役社長に就任。今年1月に代表取締役社長に就任する。長崎県長崎市を拠点に、県下一円で産業廃棄物処理事業を展開している。会社のモットーは「地元を愛し、地元で愛される企業になる」。個人としても、ふるさと長崎を盛り上げようと地域貢献活動を行っている。

あの日の夢を追いかけて――  
～長崎とともに、九州とともに～

EXILE 黒木啓司

代表取締役社長 植松将志

飯盛グリーン開発



黒木啓司(くろき けいすけ)1980年生まれ。宮崎県出身。19歳でダンスを始め、23歳のとき上野、2007年に三代目J Soul Brothersのメンバーとなり、2009年にはEXILEにパフォーマンスとして加入。以後、アーティスト、俳優として活躍を続ける一方で、2016年より、九州発エンタテインメント・プロジェクト「THE NINE WORLDS」を立ち上げる。

**夢はダンサー？ いや、エグザイルになりましたか？**  
植松 黒木さんは、かつてどんな夢を持っていましたか？  
黒木 夢はダンサーで、プロ野球選手になることでした。高校まで続けて野球の道を離れ、一度は県外で就職しました。でも、ネクタイを締めて働いていると、何か違うという思いが自分の中で大きくなって、4カ月ほど仕事を辞め、故郷の宮崎に帰りました。そこから本格的にダンスを始めました。  
植松 ダンサーになりたいと思っただけですか？  
黒木 いえ、ダンサーになりました。思ったのではなく、エグザイルにしたいと思っただけです。宮崎で開かれていた、初代ジェイ・ソウル・ブラザーズのライブを観たんです。衝撃でした。理屈ではなく、ずっとわくわくドキドキさせてくれる。その後、僕が21歳のとき、ジェイ・ソウル・ブラザーズがエグザイルと改名して活動を始めたんです。すぐに「ああ、エグザイルみたいになりたい」と明確な目標を持つようになりました。

**子どものころからの夢は「社長」になることだった**  
黒木 木と関わりのあるお仕事だと聞きました。  
植松 ひと言で言うと、産業廃棄物です。不要な木を切って、それを自社工場に持ち帰り、チップに加工して火力発電所などに燃料として納めたり、堆肥にして販売したりしています。堆肥を使った土壌改良の事業も手掛けていて、将来的には農作物の生産も計画しています。実は入社したのは5年前で、それまでサラリーマンでした。前の会社から独立しようと考えていたら、創業者に今の会社を継いでくれないかと誘われたんです。  
黒木 身内とかですか？  
植松 赤の他人です(笑)。仕事ぶりを気に入ってもらえたんです。うかぬ。ところが、いざ、ふたを開けてみたら、会社は借金だらけで、まづその返済からのスタートでした。がむしゃらに働きました。当初の年間7000万円の売り上げが1年後に1億円になり、2億円になり、3億円になって、今期6億円になりました。従業員も当初の約5倍に増えました。

**お世話になった九州への恩返しこそ使命だと感じた**  
植松 「ザ・ナイン・ワールドズ」の動画配信、いつも楽しく見ています。九州が舞台なので、親近感が湧きます。どんな思いでプロジェクトを立ち上げたんですか？  
黒木 無我夢中でエンタテインメントに取り組んできた中で、ふと気づいたんです。何らかのかたちで恩返しをしなくては、いけない。多くの皆様のおかげで、この仕事に就くことができているので、その恩返しをすることを、使命のように思っています。  
植松 そこで、九州への恩返しを？  
黒木 エグザイルには、日本を個人で動くのなら、僕が生まれ、多くを学んだ九州しか考えられませんでした。  
植松 故郷の宮崎だけでなく、九州なんですか？  
黒木 九州はある意味ひとつの国になるほどのパワーがあると

異業種で活躍する、まるで接点のない2人が出会った。1人は、日本を代表するダンス&ヴォーカルグループ「エグザイル」のメンバー。日本中の誰よりもエグザイルのことが好きだと自負し、エンタテインメントのさらなる高みを目指す。2015年からは、九州を多様なエンタテインメントで盛り上げる独自のプロジェクトを発足。地元九州の魅力を広く発信している。もう1人は、長崎県諫早市を拠点に県下一円で産業廃棄物処理事業を手掛ける(株)飯盛グリーン開発の社長。5年前、創業者に乞われ、それまで勤めていた建設会社の営業職を辞して、現職に就いた。精力的に事業を展開する一方で、愛する地元長崎のために、社会貢献活動にも励む。2人を突き動かす熱い思いについて語ってもらった。

**若者の県外流出を防ぎたいもって元気があふれる街に!**  
黒木 長崎のまちの気持はどうですか？  
植松 もっと元気を出してほしいですね。その思いもあって、地元教育委員会による職業講話の活動に協力しています。学校を訪ね、生徒たちに「僕の会社は、このまちにあって、こんな仕事をしています。僕は社長で、給料をこれだけもらっています」と「みたいな話をします。特に給料の話になると、ウワァって盛り上がりがあります。また、自分の目標って何だろう、と子どもたちに問いかけたりもします。  
黒木 自分がどうなりたいのか、夢を持つことは大切ですよね。植松 将来、このまちで働いて、このまちで暮らすイメージをふくらませてほしいんです。そして地元で働くこと、この夢を持ってもらいたい。目標を問いかけたら、給料のことを意識的に話すようにしているのはそのためです。長崎は若者の県外流出が多く、社会的な課題となつていっています。僕は生まれ育った長崎が大好きです。若者の地元離れを何とか食い止めた。長崎は自然にしても観光にしても魅力的な資源が多い。もっともって元気になるはずですよ。

**20周年という節目の年に全力で取り組んでいきたい**  
黒木 最近見つけた焼き鳥店で、料理を新で焼くことにこだわった店があるんです。めちゃくちゃ美味しくて。  
植松 薪なら弊社でも作っています。大量生産というわけではなく、少量生産というわけではなく、サウナも流行っていますし、しっかりと需要があります。  
植松 材料は弊社にほとんど入ってくるので、面白い取り組みになるかもですね。さて、2022年が始まりました。どんな目標がありますか？  
黒木 エグザイルが2021年9月27日に20周年を迎え、今年には20周年イヤーとして様々な計画がありますので、全力で挑みます。オリジナルメンバーがつくってきた歴史を振り返りながら、その一方で、新しいエグザイルを表現していきたいですね。ライブも各地で開きます。去年、ライブができなかった分まで、最高のエンタテインメントをお届けします。ご期待ください。

**植松 活動を続ける中で気づいたことはありますか？**  
黒木 僕たちがもって積極的にやっていたこと、いけないことですが、情報発信の仕方によって可能性を各段に広げられると思うので、九州の魅力を分かりやすく発信していきたいと思えます。そのお手伝いができればうれしいです。  
植松 もっと元気を出してほしいですね。その思いもあって、地元教育委員会による職業講話の活動に協力しています。学校を訪ね、生徒たちに「僕の会社は、このまちにあって、こんな仕事をしています。僕は社長で、給料をこれだけもらっています」と「みたいな話をします。特に給料の話になると、ウワァって盛り上がりがあります。また、自分の目標って何だろう、と子どもたちに問いかけたりもします。  
黒木 自分がどうなりたいのか、夢を持つことは大切ですよね。植松 将来、このまちで働いて、このまちで暮らすイメージをふくらませてほしいんです。そして地元で働くこと、この夢を持ってもらいたい。目標を問いかけたら、給料のことを意識的に話すようにしているのはそのためです。長崎は若者の県外流出が多く、社会的な課題となつていっています。僕は生まれ育った長崎が大好きです。若者の地元離れを何とか食い止めた。長崎は自然にしても観光にしても魅力的な資源が多い。もっともって元気になるはずですよ。

黒木 ずっと野球に打ち込んでいたので、プロ野球選手になることが夢でした。高校まで続けて野球の道を離れ、一度は県外で就職しました。でも、ネクタイを締めて働いていると、何か違うという思いが自分の中で大きくなって、4カ月ほど仕事を辞め、故郷の宮崎に帰りました。そこから本格的にダンスを始めました。  
植松 ダンサーになりたいと思っただけですか？  
黒木 いえ、ダンサーになりました。思ったのではなく、エグザイルにしたいと思っただけです。宮崎で開かれていた、初代ジェイ・ソウル・ブラザーズのライブを観たんです。衝撃でした。理屈ではなく、ずっとわくわくドキドキさせてくれる。その後、僕が21歳のとき、ジェイ・ソウル・ブラザーズがエグザイルと改名して活動を始めたんです。すぐに「ああ、エグザイルみたいになりたい」と明確な目標を持つようになりました。

**植松 薪なら弊社でも作っています。大量生産というわけではなく、サウナも流行っていますし、しっかりと需要があります。**  
植松 材料は弊社にほとんど入ってくるので、面白い取り組みになるかもですね。さて、2022年が始まりました。どんな目標がありますか？  
黒木 エグザイルが2021年9月27日に20周年を迎え、今年には20周年イヤーとして様々な計画がありますので、全力で挑みます。オリジナルメンバーがつくってきた歴史を振り返りながら、その一方で、新しいエグザイルを表現していきたいですね。ライブも各地で開きます。去年、ライブができなかった分まで、最高のエンタテインメントをお届けします。ご期待ください。

**植松 薪なら弊社でも作っています。大量生産というわけではなく、サウナも流行っていますし、しっかりと需要があります。**  
植松 材料は弊社にほとんど入ってくるので、面白い取り組みになるかもですね。さて、2022年が始まりました。どんな目標がありますか？  
黒木 エグザイルが2021年9月27日に20周年を迎え、今年には20周年イヤーとして様々な計画がありますので、全力で挑みます。オリジナルメンバーがつくってきた歴史を振り返りながら、その一方で、新しいエグザイルを表現していきたいですね。ライブも各地で開きます。去年、ライブができなかった分まで、最高のエンタテインメントをお届けします。ご期待ください。

**植松 薪なら弊社でも作っています。大量生産というわけではなく、サウナも流行っていますし、しっかりと需要があります。**  
植松 材料は弊社にほとんど入ってくるので、面白い取り組みになるかもですね。さて、2022年が始まりました。どんな目標がありますか？  
黒木 エグザイルが2021年9月27日に20周年を迎え、今年には20周年イヤーとして様々な計画がありますので、全力で挑みます。オリジナルメンバーがつくってきた歴史を振り返りながら、その一方で、新しいエグザイルを表現していきたいですね。ライブも各地で開きます。去年、ライブができなかった分まで、最高のエンタテインメントをお届けします。ご期待ください。



**植松 薪なら弊社でも作っています。大量生産というわけではなく、サウナも流行っていますし、しっかりと需要があります。**  
植松 材料は弊社にほとんど入ってくるので、面白い取り組みになるかもですね。さて、2022年が始まりました。どんな目標がありますか？  
黒木 エグザイルが2021年9月27日に20周年を迎え、今年には20周年イヤーとして様々な計画がありますので、全力で挑みます。オリジナルメンバーがつくってきた歴史を振り返りながら、その一方で、新しいエグザイルを表現していきたいですね。ライブも各地で開きます。去年、ライブができなかった分まで、最高のエンタテインメントをお届けします。ご期待ください。

**植松 薪なら弊社でも作っています。大量生産というわけではなく、サウナも流行っていますし、しっかりと需要があります。**  
植松 材料は弊社にほとんど入ってくるので、面白い取り組みになるかもですね。さて、2022年が始まりました。どんな目標がありますか？  
黒木 エグザイルが2021年9月27日に20周年を迎え、今年には20周年イヤーとして様々な計画がありますので、全力で挑みます。オリジナルメンバーがつくってきた歴史を振り返りながら、その一方で、新しいエグザイルを表現していきたいですね。ライブも各地で開きます。去年、ライブができなかった分まで、最高のエンタテインメントをお届けします。ご期待ください。



HAPPY NEW YEAR 2022  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

**地元を愛し、地元で愛される企業へ**  
私たち飯盛グリーン開発がある長崎県諫早市飯盛町は、広大な畑作地帯や橋湾を有する自然あふれる街です。そんな街の中で環境事業に取り組むからこそ、資源を大切にするという想いを大事にしています。地元の資源と共有・共存しながらその目標を果たし、「地元を愛し、地元で愛される企業」を目指します。



**「オシゴト研究サークルJOB研」NCC(5ch)にて放送中!**  
オシゴト研究サークル **JOB研** 毎月第1木曜日 23:10 ごろから  
私たちのお仕事内容・魅力を発信しております。是非、ご覧ください。